

平成23年度 第2回長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時：平成23年9月8日(木) 14:35～16:30

会 場：会議室19(市役所第二庁舎10階)

1 開 会

2 会長あいさつ

3 諮問

上下水道事業管理者から審議会会長へ下水道使用料について諮問を行う。

資料1「審議会における下水道使用料の答申経過」について事務局から説明

4 議 事

前回審議会の議事録の承認

- ・修正意見なし、承認される。

(1) 下水道使用料賦課漏れに係わるお客様への対応状況について

資料2「下水道使用料賦課漏れに係わるお客様への対応状況」について事務局から説明

質疑応答等

〔委 員〕

- ・下水道使用料の賦課漏れについては、いくつかのマスコミで取り上げられたが、一般の市民から意見は寄せられているか。

〔事務局〕

- ・お叱りの電話を何件かいただいた。

〔会 長〕

- ・下水道使用料を審議する年であるので、今後の処理の仕方によっては市民の理解が得られないので鋭意進めていただきたい。
- ・賦課漏れのお客様の中には事業者も含まれていると思うが、支払金額が一番多くなる事業者でどのくらいか。

〔事務局〕

- ・5年分で約1千万円である。

〔会 長〕

- ・その事業者には理解していただいているか。

〔事務局〕

- ・金額も多いことから分割納付になること、また、納税にも絡んでくることから折衝中である。

〔会 長〕

- ・ 簡単にいく話ではないと思うが、努力してもらいたい。

〔委 員〕

- ・ 折衝中の 129 件について、件数の割には金額が多いような気がするが、承諾見込みはどうか

〔事務局〕

- ・ 高額な方もいるので、金額的には高く見えるが、全ての方について粘り強く折衝していきたい。
- ・ 折衝中の中には既に長野市から転出した方もいる。転出者の半分くらいの方は払い込んでいただいたが、遠方の方は承諾を得るのに苦労すると思う。

〔会 長〕

- ・ 徴収にかかるコストも考えなければならないが、払った人との公平性も重要であるため、局の中で努力していただきたい。

(2) 平成 22 年度決算の概要について

資料 3 「平成 22 年度水道事業の概要、下水道事業の概要」について事務局から説明

質疑応答等

〔委 員〕

- ・ 合併分と統合分を分ける意味はあるのか

〔事務局〕

- ・ 合併分、統合分は、上下水道局が受けた時期が異なることから分けて表示している。

〔委 員〕

- ・ 一般市民に示す時には意味がないと思う。

〔会 長〕

- ・ これから市民に説明していくときには、誤解を生まないよう分かりやすく説明する必要がある。

〔委 員〕

- ・ 一般会計繰入金は収入の 40% 以内ということだが、収益的収入と資本的収入の合計の 40% ということか。

〔事務局〕

- ・ 40% ということは表中では示していないが、下水道使用料に対する資本費算入率のことであれば、毎年、流動的ではあるが、収益的・資本的の両方に関係してくるもの。
- ・ 一般会計繰入金は、収益的収入と資本的収入を合わせ約 53 億円となり、下水

道使用料を審議していただく際には、どの程度一般会計から繰り入れることができるかが課題となる。

〔委員〕

- ・平成 22 年度の場合は何%になるのか。

〔事務局〕

- ・約 30%程度となる。

〔会長〕

- ・上水道会計と下水道会計は、性格の違いにより一般会計繰入金の比率が大きく異なることが分かると思う。
- ・下水道の場合は、一般会計からどの程度繰り入れることができるかで料金のあり方が変わるという要素がある。
- ・本来は、事業収入の中で元利償還を含めて支払うことが基本だが、公益性があるということから一般会計繰入金の比率も大きい。
- ・下水道使用料は、一般会計予算がどうなるのかということを含わせながら審議する必要があり、通常の収支予測だけでは使用料を検討できないということを委員は理解しておいてほしい。

〔委員〕

- ・一般会計繰入金の総額は、収益的収入と資本的収入を合わせたものでよいか。

〔事務局〕

- ・そのとおり。
- ・上水も下水も公営企業会計を適用しており、国で一般会計の繰出基準が定められその基準に沿って繰り入れている。

〔会長〕

- ・下水道事業という性格から、今のところ一般会計繰入金が認められている。
- ・今後、人口減少や節水などにより使用料収入の増は難しくなる中で、市民にどの程度負担していただくか、安定した下水道事業を行っていくためにはどうすればいいかということをご皆さんで考えていきたい。

(3) 平成 22 年度下水道事業統計年報の概要について

「平成 22 年度下水道事業統計年報」の内容を事務局から説明
質疑応答等

〔委員〕

- ・5～6 ページで処理原価が平成 22 年度で 203 円となっているが、他の資料だと処理原価が 70 円とか全国平均で 50 円となっており、高額というイメージを受けるがどうなっているのか。

〔事務局〕

- ・ 147 ページ 経営分析に算出基礎数値について詳しく書かれている。全国平均も書かれているので参考にしていきたい。

〔会 長〕

- ・ コストについては、色々な計算方法があって一概には言えないが、地理的要素などが絡んで、人口が同程度の都市と比べても的確な比較はできない。
- ・ 下水道使用料を考える際には、処理原価が適正なのか、下げる余地がないのかということを検討していかなければならない。

(4) その他

次回審議会の日程について事務局から説明

10月26日(水)午後1時30分から 会議室19で開催する。

5 その他

その他資料により「水道水及び汚泥等の放射能測定結果」及び「上下水道局イメージキャラクターの愛称募集」について事務局から説明

6 閉 会

(終了時間 16:30)